

6 報告文を書いて発表しよう

報告文とは、見聞したこと、観察したこと、調査や研究したことなどの結果を、これに関心や期待を寄せている相手に、正確に、しかもよく分かるように知らせる文章のことである。記録をもとに作成されることが多い。

各自の情報を交換（報告）することによって、社会的な通じ合いが生まれ、文化の進歩、ひいては人類の進歩に貢献していくことになる。現在、社会では報告文が大きな意味をもっている。中学生のうちから報告文の書き方を身に付けておく必要がある。さらに、その報告文を報告していくプレゼンテーション能力を養っていかなければならない。

- 1 領域 書くこと
- 2 教材 報告内容の材料となる写真・図表等、学習プリント、構想表ワークシート
- 3 目標 報告文の性質を理解し、報告文を書く意欲と書き方を身に付ける。
- 4 指導時間 7時間
- 5 指導形態 在籍学級（TT 入り込み）
- 6 指導事項・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
書くこと	【事柄や意見】【構成】 ・報告文の性質を理解し、正しく分かりやすく書く。	・はっきり分かりやすく書くことができる。 ・事実を正確に書くことができる。 ・事実と意見を区別して書くことができる。 ・順序を正しく追ってしたことや見たことを書くことができる。 ・箇条書きに整理することができる。 ・分かりやすくするために、図表や・絵・写真などを用意することができる。
話すこと・聞くこと	【考えや意図】 ・自分がまとめた報告文を、相手に正しく分かりやすく伝える（発表する）。	・はっきりとした声で発表することができる。 ・図表等を使って、相手に分かりやすく発表することができる。

言語事項	<p>【音声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方を意識する。 <p>【話や文章、文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や談話の構成を意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、ゆっくりした言葉で分かりやすく話すことができる。 ・具体的なデータを用いて、組み立てを意識して話すことができる。
------	--	--

7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次 1 時 間	<p>○報告文について知る。 (学習プリントNo.1)</p> <p>○主題をはっきりさせ、どのような形式で記録・報告するかを決める。</p> <p>体験を記録・報告 実態を観察して記録・報告 実験・調査した結果を記録・報告</p> <p>[家庭学習]—題材を考えてくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の中で自ら情報をまとめ、発信していこうとする姿勢・力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告文について知り、どのような題材にするか、考える。 <p>例えば、自分の体験についてまとめ報告してもよい。また、趣味など話し合いながら題材になるものを引き出せるよう支援する。</p>
2 次 4 時 間	<p>○材料を集める。</p> <p>資料集め 観察 実験・調査 を行い記録する。</p> <p>○報告文の構想を立て、構想メモカードに記入する。</p> <p>○構想メモカードを並べ、構想表を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告したい事柄をまとめるためにどのような資料が必要か、考え収集する力 <p>例1 友達から自分に聞きたいことのアンケートをとる。 回収したアンケートをもとに項目を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想表を作る。 <p>アンケートをもとに、相手が何を知りたいかを意識しながら文章にまとめていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材が決まったら、必要な資料を集めるための支援をする。 <p>例1 題材「自分の体験の報告」 友達から自分に聞きたいことのアンケートをとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収したアンケートの整理の支援をする。 <p>《構想表》例1，例2 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとに作文していく支援をする。

	<p>○構想表と資料をもとにして文章を書く。</p> <p>○写真を集めたり、図表を作ったりする。</p> <p>○推敲する。</p>	<p>・相手により理解してもらうために、報告したい事柄に即した写真を用意したり、図を作ったりする。</p>	<p>★写真を選んだり、図をかいたりする支援を行う。必要であれば、パソコンやプロジェクターを使えるよう準備や支援を行う。</p> <p>★言葉の使い方や表記上に間違いはないか、もっと適切な表現はないか、推敲の支援を行う。</p>
3 次 2 時 間	<p>○発表（報告）する。 自己評価票に記入する。</p> <p>○友達の報告を聞く。 相互評価票に記入する。</p>	<p>・はっきりした言葉で分かりやすく報告する。</p> <p>・友達の報告を聞いて、言いたいことを理解する。</p>	<p>★自信をもって発表できるようアドバイスし、練習させておく。</p>

《構想表》例1

報告文	構想表	年	組	番	氏名
題	中国の生活の紹介と日本の生活				
	段落	書く事柄（簡単に箇条書きにしたり、構想メモを貼る）			
組 み 立 て	書き出し	動機と目的	報告文を書くことになったので、自分のことを書くことにした。		
	本 文	方法と経過	<p>クラスみんなに、自分に聞きたいことのアンケートをとった。それに答えていく。</p> <p>日本に来たわけを教えてください。</p> <p>中国で住んでいた村の様子を教えてください。</p> <p>中国の人たちの家について教えてください。</p> <p>中国の小学校でどんな勉強をしましたか。楽しかった小学校生活の様子を教えてください。先生はどんな先生でしたか。</p> <p>日本に来て良かったこと、困ったことを教えてください。</p>		
		結果と考察	<p>現在の私の気持ち</p> <p>うれしかったこと</p> <p>たくさんの日本人の生徒と友だちになりたい。</p>		

結 び	反省と今後の 課題	将来に向けての私の気持ち
--------	--------------	--------------

《構想表》例2

報告文	構想表	年	組	番	氏名
題	百人一首カルタ競技（団体戦）				
段落	書く事柄（簡単に箇条書きにしたり、構想メモを貼る）				
組 み 立 て	書き出し	動機と目的	・子ども会のカルタの練習に4年生のとき、母にすすめられていきおもしろくなる。		
	本文	方法と経過	・団体戦のルール（図を作る。） ・小学生のとき 団体戦 市大会出場 苦戦しながらも市大会出場 予選で敗れる。 ・中学生になって 予選は不戦勝で市大会出場 小学生の予選に審判をする。		
		結果と考察	・今までのことのでいえること ・他のチームの試合中の態度		
	結び	反省と今後の課題	・今後身に付けなければならないこと		

◆題材を決める(題材の例)

- ・ クラブ活動の楽しみ、苦しみ、趣味や習い事で学んだこと、感じたこと
- ・ ものを作ったり、育てたり、集めたりした体験、それによって学んだこと
- ・ 映画、音楽、展覧会などを鑑賞して感動した体験
- ・ 旅行や散歩、登山などで接した自然、遺跡
- ・ 見学した工場や会社、そこで働く人々の様子
- ・ 社会の問題（環境・公害・社会福祉・平和・文化財保護・交通・労働など）についての調査
- ・ 理科の実験・観察ノートから
- ・ 自分が自由に研究したこと

「報告文を書いて発表しよう」学習プリント No.1

1. 研究報告について過去の経験を話し合う。

いつ・内容・形式（個人かグループか）

2. 報告文とはどういうものか。

報告文は、見聞したこと、観察したこと、調査や研究したことなどの結果を、これに関心や期待を寄せている相手に、正確に、しかも、よく分かるように知らせる文章のことである。記録をもとに作成されることが多い。

3. 報告文の意義

社会的な通じ合い → 人類の進歩

4. 報告文の種類

例「研究調査報告（レポート）」「生徒会活動の報告」「会議決定事項の報告」
「新聞記事」「ニュース」

5. 報告文の形式

書き出し	動機と目的（何がきっかけでこの調査にとりかかったのか。どういう点を調査究明しようとしたのか。）
本文	方法と経過（どんな準備をし、どんな方法を考えたか。実際にどんなふうに進めていったか。）
	結果と考察（どういうことが分かったか。それをどう考えるか。）
結び	反省と今後の課題（計画や方法についての反省点。今後に残された問題点。）

6. 報告文を書くための注意

- ・ はっきり分かりやすく書く。
- ・ 事実を正確に書く。
- ・ 事実と意見を区別する。
- ・ 順序を正しく追って、したことや見たことを書く。
- ・ 箇条書きに整理する。
- ・ 図表・絵・写真などを用いる。

「報告文を書いて発表しよう」学習プリント No.1

1. 研究報告について過去の経験を話し合う。
いつ・内容・形式（個人かグループか）

2. 報告文とはどういうものか。
報告文は、見聞したこと、観察したこと、調査や研究したことなどの結果を、これに関心や期待を寄せている相手に、正確に、しかも、よく分かるように知らせる文章のことである。記録をもとに作成されることが多い。

3. 報告文の意義

--

4. 報告文の種類

例「研究調査報告（レポート）」「生徒会活動の報告」「会議決定事項の報告」
「新聞記事」「ニュース」

5. 報告文の形式

書き出し	
本 文	
結 び	

6. 報告文を書くための注意

--

報告文 構想表

年 組 番 氏名

題			
段落		書く事柄 (簡単に箇条書きにしたり、構想メモを貼る)	
組 み 立 て	書き出し	動機と目的	
	本	方法と経過	
	文	結果と考察	
	結び	反省と今後の課題	

自己評価票

年 組 番 氏名

1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 どちらかというそうは思わない 4 そうは思わない

項 目	自 己 評 価			
「中心点」をはっきりと決めることができた。	1	2	3	4
分かりやすく伝えるために工夫をすることができた。	1	2	3	4
よく書けていると思うところはどこですか。				
不満だがしかたがないと思うところはどこですか。				
推敲で特に気を付けたのはどこですか。				
しっかりした声で報告することができた。	1	2	3	4

相互評価票

年 組 番 氏名

1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 どちらかというそうは思わない 4 そうは思わない

項 目	() さんの報告を聞いて			
「言いたいこと」がはっきりと表現されている。	1	2	3	4
分かりやすく伝えるために工夫がされている。	1	2	3	4
よく書けていると思うところはどこですか。				
文章の組み立てがしっかりしている。	1	2	3	4
表現上のあやまりで気付いたところはどこですか。				
しっかりした声で報告していた。	1	2	3	4
感想				